

# 継ぐ 極意

取締役  
福原 千里さん

「私が会社を継ぐ」。そう思ったのが小学4年生の時だったと語る福原千里取締役。その気持ちはぶれることなく、進路は京都大学工学部へ。ロボットに関わる研究に携わりました。

大学卒業後、大手自動車部品メーカーに勤めたのち、2011年に南海鋼材株式会社に入社。加工管理部や総務部を経て、現在は※PPW（合金パウダーを溶剤としたプラズマ溶接）技術を用いた金型の自動肉盛りシステムの開発推進役を担っています。非常に高いスキルが求められる金型の肉盛溶接については、若手技術者には、3K作業であるがゆえに定着しにくく、その難しさからも、技術継承が困難です。また、自動車の電動化が急速に進む中、コストパフォーマンスを上げたい現実があり、ロボットによる自動化に大きな期待が寄せられています。将来的にはシステムの外販を視野に、いち早い完成を目指しているところだとか。

「経営者としての準備は、開発の完了後ですね」と福原取締役。それでも現場に身を置くなかで実感する「非常に貴重な技術を持つ人材を擁しながら、それを全社的な財産として活かしていきたい」課題については、将来何としても解決したいと考えています。

男社会の業界において、若い女性の経営者でいいのかという福原取締役の不安については、「女姉妹の中で育ち、今も妻と娘だけの家庭にいて、女性の能力の高さは私が一番よく知っている」と福原取締役社長が笑い飛ばしました。経験値はこれだからだが賞悟ができていく福原取締役こそ、同社のトップにふさわしいと考えられているのでしょうか。

※PPWは大同特殊鋼株の登録商標です。

社員を不安にさせない承継に向け、  
社長との信頼関係をより大切に。

南海鋼材株式会社

本社 / 堺市堺区北庄町2-2-10 TEL / 072-233-1525 (代)

特殊鋼材の切断販売で、1950年に創業。現在は“創る商社”として、金型や治工具の製造からメンテナンスまでを手がけ、さらには最近、金型のゼロエミッションを目指して、廃棄金型のリサイクルに取り組んでいる。

<http://www.nankaikozai.co.jp/>

